

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



戌年企画  
ワンだふるファミリ～  
～愛犬チョコと植松忠男さん～  
(紹介は12ページ)



# 収穫作業始まる!

8月に入つてから好天に恵まれ、本町の基幹作物である玉葱、小麦、にんにくの収穫が本格化してきました。今後も各作物の収穫、小麦の適期播種に向けて忙しい毎日が続きますが、忙期の時期こそ、家族みんなで声を掛け合い、農作業事故、交通事故防止に努めていきましょう。



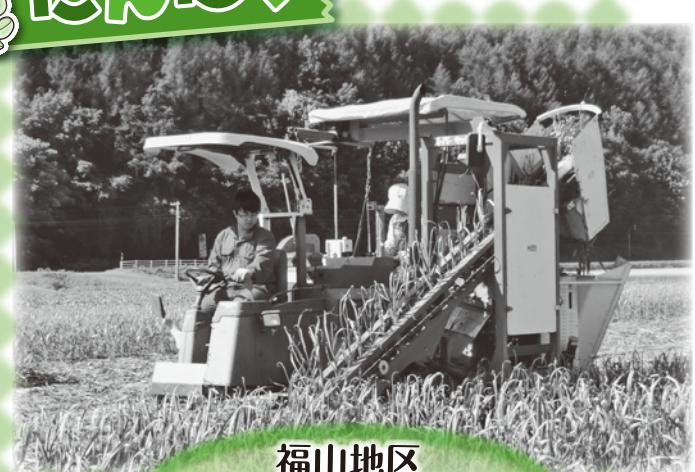
豊川地区  
佐藤 薫さん圃場



福山地区  
植松 孝雄さん圃場



共立地区  
齊藤 隆さん圃場



福山地区  
小野寺 靖さん圃場



### 平原 正規さん

長崎県立諭早農業高等学校2年 受入:梅田俊則さん

20日間の実習に興奮する反面、色々な不安も抱いていましたが、実習を通して解消していくことができました。

刺激的で、見識と知識がより一層深まる貴重な体験ができ、とても有意義な20日間でした。いつもわかりやすく教えてくれた梅田さんと牛たちに感謝しています！

### 青山 和寛さん

拓殖大学北海道短期大学2年 受入:清井俊幸さん

将来目指している共同法人の手本として、経営理念や効率的な作業の仕方など、たくさん学ぶことが出来ました。

この研修で得た知識や経験を、自分のものにできるよう、今はしっかりと記憶し、今後自分自身の農業経営へと繋げていきたいと考えています。



### 宮森 祐さん

拓殖大学北海道短期大学2年 受入:内藤貴之さん

普段の授業では体験できない作業を体験することができ、これから農業をしていくという実感がわきました。

卒業後、実家で就農しても、この実習で学んだことを十分に活用することができる有意義な体験ができたと思います。



常呂町農業担い手受入協議会（林健志会長）は、本年度も3人の農業実習生をホームステイ形式で受けました。

長崎県立諭早農業高等学校からは1人が来町し、7月25日～8月13日の20日間の酪農体験実習を行いました。また、拓殖大学北海道短期大学からは2人が来町し、7月28日～8月

11日の15日間の農業実習を行い、常呂町の畑作を中心とした農業を体験しました。実習生は普段の学校生活では得られない貴重な体験ができ、今後の就農・進学に向けて意義のある実習になったのではないでしょうか。

実習を終えて、各実習生の感想をご紹介します。

# 農業実習生受入れ

## ★常呂町農業担い手受入協議会★

# 食と農の大切さを伝える

～JAとこる青年部 食育事業～

J.Aとこる青年部（所尚玄部長）は7月11日、北見市立常呂小学校で、町内の3つの小学校（常呂、川沿、錦水）合同で、3年生と4年生を対象にした「食農教育」の出前授業を行い、児童39人が参加しました。

この取り組みは、将来を担う子どもたちに、青年部が本町で生産される各作物の生産過程と消費過程をわかりやすく説明し、農業に対する興味や関心を抱いてもらうこととあわせ、青年部員自らも「農業を伝える力」を身に付けることを目的に平成23年度から行われています。

スクリーンに作業の写真を投影し、青年部がわかりやすく説明したり、前方に作物や製品を展示するなど、工夫しながら授業を行いました。

参加した児童は「常呂町の農業が知れてよかったです」「楽しかった」と笑顔で感想を話しました。



●スクリーンや写真を使って説明を行いました



●間近で見る農作物に興味津々な児童たち

# 設立30周年の節目を祝う

～JAところ年金友の会～



●歴代役員に感謝状が贈られました

JAところ年金友の会（佐藤國昭会長）は7月14日、常呂町多目的研修センターで30周年記念式典を開き、30周年の節目を祝おうと会員64人が参加しました。

同会は平成元年に設立総会が開かれてから、温泉保養・パークゴルフ大会・ゲートボール大会・バス旅行を柱に活動をしてきました。

開会に先立ち佐藤会長は「長きにわたり家庭や家族のために頑張ってこられた皆様

は賞賛に値します。今後も会員同士の親睦をほかり、皆が楽しめる行事を企画するので積極的な参加をお願いします」と開会の挨拶を行いました。

また、来賓の川上和則組合長より「友の会の礎を築かれた歴代役員・会員の皆様には心より敬意を表します。これからも健康維持に向けた活動を続けてください」と祝辞を賜

りました。

また、式典の中で歴代役員として御尽力いただいた6人の方に感謝状と記念品が授与されました。

祝賀会では会員による「オカリナ演奏・どじょうすくい・カラオケ発表」やミントマジシャンズクラブによる「マジックショー」が行われ参加者からは笑顔と笑いが溢れました。

感謝状が贈呈された方は以下の通りです。



●記念式典の後には祝賀会が行われました



●ミントマジシャンズクラブによるマジックショーが行われました

## 《感謝状贈呈者》(敬称略)

平成12～13年 会長 小野寺 駒 吉	平成18～29年 副会長 久世 登百子
〃 14～19年 会長 近藤 房 男	〃 20～25年 副会長 小野寺 勉
〃 14～25年 副会長 澤田 貞 雄	〃 26～27年 会長 "
〃 14～17年 副会長 鈴木 節 子	



岩井義郎さんによるオカリナ演奏



氏川光弘さんによるどじょうすくい



清井静子さんによるカラオケ発表



甘いスイーツを食べて休憩する部員の皆さん

JJAと「ころ女性部（岡田真理子部長）」は7月10日～11日の2日間、部員22人が参加して夏季視察研修を札幌方面で行いましたので、研修要点を報告します。

1日目は、岩見沢市で葡萄栽培・ワイン製造をしている株式会社「宝水ワイナリー」を訪りました。

同ワイナリーは、平成14年の補助事業で「岩見沢市特産ぶどう振興組合」が発足した際、岩見沢市がなんとか岩見

沢にワイン産業を起したい、農産物に付加価値のついた産業構造が出来ないかと政策を編んだ結果、振興組合の皆で出資し誕生しました。



自分たちだけのオリジナルクッキーを制作しました



道の駅とうべつの農産物を見学する皆さん



株式会社宝水ワイナリーを見学した皆さん

道の駅とうべつ。

ここは、当別町の近隣農家が作っている農産物を販売する直売所の他、同町の暮らしを伝える「TOBEITU」商品や地元農産物を原料とした食品、姉妹都市である北欧の雑貨などを取り扱うお店やレストランなどががあり、買い物などを楽しみました。

この2日間を通して女性部の絆をより一層深め、新たな知識も得ることの出来た夏季視察研修となりました。

次に訪れたのは、札幌市にある豊平峡ダム。ここは古い多くの雨模様でしたが、電気バスに乗り、放水を見学しました。

2日目は、石屋製菓が経営したため、来客が増えたため、来客が増えた」と笑顔で話しました。

3日目は、「白い恋人パーク」で体験を行いました。

4日目は、オーブンしたばかりの「北欧の風

の煙で栽培している。畑の面積を増やしたいのだが、苗木が手に入りにくい」と話し、また「ぶどうのなみだ“という映画のロケ地になつたため、来客が増ったため、来客が増えた」と笑顔で話しました。

5日目は、昨年9月にオーブンしたばかりの「北欧の風

# 家畜への鎮魂と感謝の意を込め

（相馬神社祭・獣魂祭）

JJAといじり（川上和則組合長）は7月26日、共立地区のJJA川東牧場で獣魂祭を執り行いました。

当団はJJA役員、各関係機関、畜産農家など15人が出席しました。

この獣魂祭は、日頃の當農や食文化のために命を捧げてくれた家畜に対し鎮魂と感謝の意を込めて供養を行うものであり、出席者一人ひとり獣魂碑に向かい家畜の靈を慰めました。

JJAといじり（川上組合長）は7月11日～13日、18日の計2回、馬鈴薯の疾病防除を行いました。

6月下旬から7月上旬までの多雨により、馬鈴薯の防除が困難な圃場があることから、ヘリコプター防除を株式会社コハタに委託し実施しました。

防除作業は12戸からの申し込みがあり、防除面積は約62haとなりました。オペレーターの高度な技術と組合員皆様の協力のおかげで18日に全工程が完了しました。



正確な操作で限なく防除されました



鎮魂と感謝の意を込める出席者一同

# 経営移譲懇話会を行う



経営移譲懇話会に参加した皆さん

JJAといじり（川上組合長）は7月11日～13日、18日の計2回、馬鈴薯の疾病防除を行いました。

6月下旬から7月上旬までの多雨により、馬鈴薯の防除が困難な圃場があることから、ヘリコプター防除を株式会社コハタに委託し実施しました。

防除作業は12戸からの申し込みがあり、防除面積は約62haとなりました。オペレーターの高度な技術と組合員皆様の協力のおかげで18日に全工程が完了しました。

JJAといじり（川上組合長）は、経営移譲懇話会を7月19日に松寿じで行い、組合員4戸7人が出席しました。この懇話会は、平成29年度中に「子息に経営移譲された方が対象で、これまで長きに亘り農業経営に努力され、更には常呂町農業の振興と当JJAの事業運営に尽力されたことに対する感謝を申し上げることを目的として開いています。

当団は、昔の農業やJJA、家族のことなどの話題で大いに盛り上がり、経営移譲者間の親睦も図られました。最後に川上組合長より、今後も当JAに対し変わらぬご支援ご協力をお願いしました。



旬な野菜を求めてたくさんのお客さんが来ました

地元で採れた野菜を地元の住民に販売する「といじろ市」が8月11日、中央公民館で開かれ、「やわら音」「よめさんねつとわーくせいかやん」「石川県服店」などが出店し販売しました。玉葱・じゃがいも・とうもろこし・トマトなどの旬な野菜やスイカやパン・ジャムなどの加工品なども陳列。11時の開始前は、新鮮な地元野菜を求める地域住民が列をなし、開始とともに館内は賑わいを見せました。

# 地産地消で町に活気を！





GAP認証は将来に向けて取得しなければいけないのですか?

最終回

今のところ本町農業の生産物は「認証が無ければ売れない」という状況ではありません。しかし、GAPを「実践する」ことは農業者全体に求められていることです。その上で相手方から求められたら「認証を取る」として、分けて考えましょう。

必要があればいつでも認証が取得できるよう、日頃からの取り組みが必要です。



JAところはGAPを推進しているの?

GAPに基づいた農場管理手法を取り入れることは、農場の経営改善や農産物の安心・安全、リスク意識を高めるために役立つ手法です。JAところでは、これらの手段を営農改善ツールのひとつと考え、取組の支援体制を整備しています。

また、生産部会内からの要望があれば、講習会の開催なども検討致します。



### 引き続きGAPに関するご相談を承ります

GAPの仕組みや取組に関するご相談のほか、必要に応じて普及センターなど関係団体とも連携を取りながら、適切なアドバイスを行います。また今後も随時広報誌面などで情報提供を行って参ります。

お問い合わせ・ご質問などは古川・樋渡まで

◎シリーズ最終回は、お寄せいただいたいる疑問にお答えします。

G  
A  
P  
つ  
て  
な  
に  
?

## JAに集う意味

Vol.2

協同組合とは ~株式会社との違いから考える~

○協同組合は、一人ではできないことを皆で行うことで成果を求めるもの。①自ら出資する、②運営に自ら責任をもつ、③その事業を利用することが協同組合の基本である。

○株式会社は、利潤の追求を目的としており、出資者(株主)は出資額に応じた配当(利益)を期待して出資する。一方、協同組合の組合員は、自らの営農・生活を支えるJA事業の運営とその利用を期待して出資していることから、配当はJA事業の利用に応じて支払うことが基本といえる。

### 協同組合(JA)と株式会社の違い

	JA(農業協同組合)	株式会社
存立意義	組合員の営農と生活を守り向上させること	利潤の追求
組織者	三位一体 組合員(=農業者) 組合員 組合員(代表として理事) 1人1票制(民主的運営)	株主(=投資家、法人) 顧客(不特定多数)
利用者		経営者(株主代理人)
運営者		
運営方法		1株1票制(株主支配)
出資する目的期待すること	自らの営農生活を支える事業の運営とその利用 思いやり助け合い	出資配当 稼ぎたい儲けたい

# 政州視察を終えて

～日甜美幌地区四ヶ町村甜菜対策振興協議会～



生産部 施設コントラ係長  
**中村 克俊**

今回、日甜美幌地区四ヶ町村甜菜対策振興協議会で大型甜菜収穫機械並びに種子の情勢について、会員JA職員4人と日甜職員2人の計6人で、6月26日～7月5日までの間ドイツでの研修をさせて頂きました。

ドイツの気候は、北海道での6月下旬の少し肌寒い感じの気温で、湿度も少なく非常に過ごしやすい気候でした。また、都市から少し離れた郊外では、煙が見え始め農村風景も北海道と似てあり、特別広い畑があるわけでもなくビート・コーンそして小麦の畑が広がっています。生育ステ

されていないそうですが、畑の作物は、どれもしおれがなく青々としている印象を受けました。

**KWS社(種子会社)**



KWS社のビート試験圃場

030年～40年には市場に発表するため取り組んでいますが、1つの品種を作るには、15年～20年の長期に渡る研究期間がかかるため、農家との意見交換を頻繁に行い、開発の方向性を間違わないよ

うじは、日本と比べ1ヶ月程度進んでいる様子で、小麦の刈取りが始まったところでした。また、今年は干ばつで5週間もの間、降雨が確認されました。

現在開発している成果を2030年～40年には市場に発表するため取り組んでいますが、1つの品種を作るには、15年～20年の長期に渡る研究期間がかかるため、農家との意見交換を頻繁に行い、開発の方向性を間違わないよ

うじは、農家に求められる種子を生産する注意にしています。特に日本向け品種には、褐斑病の耐病性を高めるような研究を進めています。また、今までに開発した品種は357品種あり、登録品種名は、すべて女性の名前で登録しているそうです。

## ○日本向け種子の動向

日本向けには、手作業による交配を行い増殖、研究しています。その過程で、特に良い特性を持つた株を選択し、耕作試験を行い収穫して確認し、選別。良い系統のみを翌年に更に増殖することを繰り返す事で20年程度の研究期間が必要となります。また、交配する数がとても多いため、収穫しながら糖分測定などの分析を行うことができる特別なハーベスターを所有し、研究の作業効率の向上を図っています。

北海道向けの品種は、褐斑病、黒根病を第一に考え育種しています。KWS社はビート種子世界シェア50%を超える種苗会社です。育種の年間研究目標は、面積当たりの収量増を1%～2%、根中糖分、根周のアップを目指として毎年少しづつ交配を変え研究しています。

種は、アメリカで育種を行っています。黒根病の耐病性は、ヨーロッパの品種よりも日本向け品種の方が黒根病耐病性は、高くなっているそうです。現在の主力品種であるZUKUNFT SÄENの後継品種はすでに完成していますが、日本は、品種登録に時間がかかるのが難点で、なかなか品種の更新が進まないのが残念などです。今後は、除草剤耐性品種のコンビゾスマート品種（遺伝子組み換えではなく、交配による品種）の出荷も考えていますが、農薬登録、品種登録を考えると非常に時間がかかりますが、日本の農家の皆さんに使用してほしいと話していました。



KWS社と意見交換を行った参加者一同





(上)グリメ社で活発な意見交換が行われました



(上)収穫機内部 (下)調査用収穫機

**グリメ社・ホルマー社  
(大型甜菜収穫機械)**

オホーツク管内でも直播ビートが増加傾向にあるため、直播ビート用に大型収穫機械を製造し、ドイツでもシェア率が高い「グリメ社」と「ホルマー社」に日本での甜菜栽培の状況説明と日本向けの機械の仕様について意見交換を行ってきました。

両社とも、しっかりと日本のニーズを取り入れて、将来に向けての方向性を間違わぬ

ようビートについて土を極力落とす仕組みを取り入れ、少々のぬかるみ、降雪などの悪天候に左右されない稼働(収穫)能力を持ち、さらにオペレーターの疲労軽減、整備性の良さなど非常に取り扱いやすい印象を受けました。

ドイツのビート栽培体系は、3月下旬から4月上旬に播種機で直接畑に種を蒔く直播方式を取り入れ、畠幅50cm・株間15cmの密植栽培を行ってい

ます。それに合わせて、収穫物の畦掘りの大型収穫機械が主流となり使用されています。日本では、積雪があるため、春早くにビートの直播が出来ない地域が多く、まだまだペーパーポットが主流の栽培方法と思いました。このような大型機械の導入は、今後の栽培技術の変更になりますが、日本仕様の畠幅に機械を合わせるのではなく栽培方法を欧洲型へ変更していくことが普及、そして省力化への近道ではないかと感じました。ドイツの甜菜栽培を身近に感じ圧巻したところもありました。

また、小麦の育種だけで18,000区画あり、そのほかにも菜種などの育種を行っている試験場なども視察しました。そこでは管理する研究員が40人と聞き驚きました。機械会社では、グリメ社は、管理の行き届いた最新の製造工場、ホルマー社は、町工場

から発展した工場という印象を受けましたが、どちらも製造管理を綿密に行い良い製品を世界に届けていました。

視察研修では、大変貴重な経験と体験することが出来ました。今回得た見聞を今後の業務に生かしていきたいと考えます。



(上)ホルマー社と意見交換を行った参加者一同

# 新採用職員紹介

- ①出身地 ②最終出身校 ③趣味・特技  
④今後の抱負 ⑤自己PR



たけだ  
**武田 涼平**

昭和63年11月生(29歳)

- ①北見市  
②北見高等技術専門学院  
③釣り、ソフトテニス  
④一日も早く仕事を覚え戦力となれるよう努力していく、地域、組合員の皆さんに認めていただけるよう仕事に励みたいと思います。  
⑤前職までは10年間、自動車整備士として主にトラック、タイヤショベル、フォークリフトを中心に入庫してきましたので通りの整備、故障診断をすることができます。

皆さん  
よろしくお願い  
します!

JJAという（川上和則組合長）は、JJA理事、監事、職員を対象とした「コンプライアンス研修会」をJJA会議室で行い、60人が出席しました。JAというでは風通しの良い職場環境作りのために毎年実施しています。今回は、「コンプライアンスについて」と題し、JJA北海道中央会北見支所の山元勝博支所長を講師に招き行われ、そもそも言葉の意味から最近の不祥事例、道内の不祥事例を交えた話がされました。

連・相の大切さを再確認しました。研修会後に川上組合長は「困ったこと

があつたら一人で解決しようとせず必ず上司に相談するように」と話しました。



写真上：講師の山元支所長  
写真下：研修を受ける職員

## 風通しの良い職場環境作りのため

## 農作業事故防止の徹底！

### 【農作業安全の実践・確認項目】

- ① 休憩の取れる無理のない作業
- ② 農作業や機械作業に適した服装
- ③ 点検・整備は、必ずエンジン停止
- ④ 油断せず後方確認、足元注意
- ⑤ 慎重な圃場への出入り、慎重なあぜ越え
- ⑥ 農道の走行時は、路肩の状況を確認
- ⑦ 道路走行に備え、反射板を装着



暴風雨などの悪天候時には、圃場に行かない！「もしも」のために携帯電話を持参!!

「私の最近の楽しみは、休日に登山をすることです。この感じが何とも言えません。ぜひみなさん一度体験してみてください！」



● 山頂でのコーヒーとサンドイッチ

「私の最近の楽しみは、休日に登山をすることです。

生産部 販売課 山田 瞬也

私の最近の楽しみは、休日に登山をすることです。初めて登山を行った時は、ただ友人に誘われただけで必要な道具も知識もなく友人に付いていくだけの感じだったのですが、最近では道具も徐々に揃いつつあり、知識も身についてきたので更に楽しめるようになってきました。

登山回数は7回とまだまだ少ないですが、一番印象的だった山は滋賀県にある武奈ヶ岳です。標高自体は高くはないのですが、山頂まで登れば琵琶湖を一望出来るので印象に残っています。

登山中の一番の楽しみは、朝早くから山に入り、山頂での澄んだ空気を堪能しつつ、朝日を見ながらコーヒーとサンドイッチを食べることです。この感じが何とも言えないので、私は一度も贅沢なことは思っていません。ぜひみなさんに一度お試してみてください！」

**ちふと発信**

**J A マン**  
**コーナー**

発信No.56

J A職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。

## 第6回理事会報告

- 1. 固定資産の取得について（計画外）**  
次の固定資産を取得することで承認されました。  
 ○取得物件 小麦検査場プレハブハウス  
 ○業者 (株)共成レンテム 他
- 2. 平成30年産共計小麦の仮渡金について**  
 ○きたほなみ 1,412円/60kg  
 ○ゆめちから 1,235円/60kg  
 ○春よ恋 1,538円/60kg  
 で仮渡することで承認されました。
- 3. 平成30年産共計玉葱の仮渡金について**  
 50,000円/10aで仮渡することで承認されました。
- 4. 組合員の出資金譲渡について**  
 原案の通り出資金譲渡について承認されました。

### 〈報告事項〉

1. 第1四半期監査報告について
2. 内部監査報告について
3. 外部出資の譲受けについて
4. 平成30年度実測面積について
5. 平成30年度コムギなまぐさ黒穂病調査の結果について
6. 平成29年産共計玉葱の本精算について
7. 平成30年度早取り肥料取りまとめ実績について
8. 組合員交流会開催報告について
9. 平成30年度農業労災加入状況について
10. 職員の採用について
11. 農業委員会報告について
12. でん粉工場整理・統合に係る意見集約について
13. 特養ところ移転新築整備に係る検討打合せについて

## 行事予定表

9月1日(土)~9月30日(日)

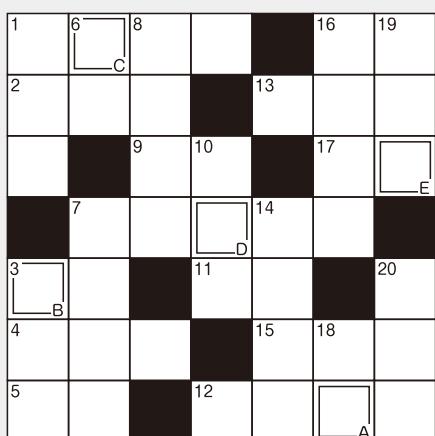
9月12日(水) 秋季祭典

9月17日(月) 敬老の日

9月23日(日) 秋分の日・農休日

9月24日(月) 振替休日

9月25日(火) 第8回定期理事会



## Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA~Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

### タテのカギ

- ①水着の痕がついたり皮がめくれたり
- ③学校の教室に並べます
- ⑥酒などを量る四角い容器
- ⑦ミノ、ハツ、センマイといえば
- ⑧全生徒中の男子生徒の〇〇〇〇を計算で求めた
- ⑩お盆休みに帰る人もいます
- ⑭プールで習うことの一つ
- ⑯ビーチ〇〇〇〇を広げて日陰をつくった
- ⑰一般的に縄より太め
- ⑲バットを持って1人でもできる練習
- ⑳釣りに使う透明な糸

### ヨコのカギ

- ①夏らしい黄色い花
- ②爪を削って整えるときに使います
- ③アサガオやヘチマが伸びます
- ④天気予報では雲のマークで表されることが多い天候
- ⑤コンパスだときれいに描けます
- ⑦サッカーの主審が吹きます
- ⑨舌で感じます
- ⑪ウミウシも実はこの仲間
- ⑫プラスの反対
- ⑬UAEとも呼ばれる〇〇〇首長国連邦
- ⑮卵を英語でいうと
- ⑯定期券を入れた〇〇ケース
- ⑰あの2人はどうも〇〇が合わないようだなあ

### 先月の当選者・解答

8月号のまちがい探しの答えは、

「2、5、8、9、11」でした。

抽選の結果、次の方が当選しました。

おめでとうございます。

片岡 由貴奈さん(岐阜)

※( )内は地区名です。

### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。  
 抽選で、共同給油所の洗車カード3,000円分を1名の方にプレゼントします。

### 読者の声

★まちがい探しが難しくて楽しかった。

(匿名希望)

★毎月、どんなものが景品になるのか楽しみにしています！

(匿名希望)

# みんなで力を合わせて料理づくり

## ★JAところKIDSわくわくクッキング★

JAところは、夏休み中の町内小学生を対象にした子ども料理教室「JAところKIDSわくわくクッキング」を「ファーマーズハウスうえる」で8月3日に開き、2~6年生の児童11人が参加しました。

この料理教室は、命の大切さや食べ物の大切さを子どもたちに伝えることを目的に、平成25年から毎年開催しており、今年で6年目となります。

今年のメニューは、地元産小麦の春よ恋を使用した「生パスタ」「ミートソース」と「ピザ」、デ



●ピザの盛り付けからカットまで上手にできました

ガートの「クレープ」4品で、料理好きのJA職員3人が講師となってそれぞれ調理を行いました。

何度も食べたことがある料理でも生地から作ったことはなかったという子どもたちが多く、初めて使う調理器具に興味津々でした。

みんなで力を合わせて調理した後、「いただきます！」と子どもたちの掛け声で自分たちが作った料理を食べ、「とてもおいしい」「家でも作りたい」と感想を話しながら楽しく昼食を食べました。



●パスタが均一の大きさになるよう集中！



●みんなで力を合わせて作りました

### 編集後記

●まだまだ暖かい日もありますが、急激に冷え込む日が多くなってきており秋に近づいてきていることを実感しています。今年も残すところ、4ヶ月となります。組合員皆様の豊作をご祈念するとともに読みやすい広報誌面作りを心がけて参ります。

《営農企画課：広報担当》

### 戌年企画 ワンだぶるファミリ～ 愛犬チョコと植松忠男さん

今月の表紙は、福山地区の植松忠男さんと愛犬のチョコ(7♀)です。チョコはとてもおとなしくて賢く、撮影中も名前を呼ぶとこちらを向いてくれてとても助かりました。

実は、植松家にはもう1匹愛犬サクラ(7♀)がいたのですが、2匹近づけるとじゃれ合いを始めてしまうので残念ながら表紙はチョコのみとなりました(サクラの写真は左に掲載)。

忠男さんは「1匹ずつ散歩に連れていくことで倍の距離を歩くことができる所以健康的で良い」と話してくれました。

お忙しい中、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。



●こちらはサクラ(7♀)